

法人（事業所）理念	利用者の幸せを願い人権を尊重し、医療、看護、介護、リハビリ、事務、栄養などのスタッフ全員が力をあわせ人間性に富んだ最善の医療サービスを行います。		
支援方針	ご利用者の生活過程を整え、健康に生活できるように、個別性を重視した支援を行います。		
営業時間	10時 00分から 16時 00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	バイタルサイン、呼吸状態、全身状態の観察。前日や夜間の状態、けいれん発作の有無、酸素・経管内容の変更の有無などの確認・情報共有。その日の体調や状態に合わせた活動時間や内容を提供する。季節活動を取り入れる。	
	運動・感覚	座位保持装置、ベット上での安全で安定したポジショニングの保持。通所リハ(PT)介入し、下肢や胸郭(その利用者に必要な)などの可動域の維持・向上を図る。	
	認知・行動	初めて行う活動ではスタッフが実際にやって見せ挑戦しやすい環境を作る。本人の興味のあるもの・情報が優位な部位(視覚や聴覚など)から入り選択しやすい環境を作る。	
	言語 コミュニケーション	快や不快のサインを理解し快に対しては共有、不快に対してはすぐ対応する。活動時の反応や表情の変化、状態の観察をする。指差し・記号・サイン・絵などを用いて意思の伝達できるよう支援する。	
	人間関係 社会性	活動内容に応じて参加しやすい姿勢の保持(マットやベット・座位保持など)。ルールや順番のある活動では話し合ったり時間を決めたりしてみんなが参加できるように支援する。利用者間にスタッフが入りコミュニケーションを図りやすい環境を作る。	
家族支援	個別面談。利用前の状態確認と連絡帳を通し情報伝授。	移行支援	日中一時支援。短期入所棟やリハビリスタッフとの情報共有。
地域支援・地域連携	モニタリング。相談員との利用状況の確認や情報交換。	職員の質の向上	発達カンファレンス、多職種との情報交換と共有
主な行事等	朝の会・誕生会・夏祭りやクリスマス会などの季節行事		

事業所名

柳川療育センター児童発達支援事業所あいりす(ほし組)

支援プログラム

作成日

7年

2月

1日

法人（事業所）理念		利用者の幸せを願い人権を尊重し、医療、看護、介護、リハビリ、事務、栄養などのスタッフ全員が力をあわせ人間性に富んだ最善の療育サービスを行います。								
支援方針		発達の遅れや発達の偏りがあると思われる就学前のお子さんに対してさまざまな領域の遊びや、基本的な生活習慣、指導を取り入れ、社会生活へ適応できるよう、相談、援助、機能訓練などを行い、お子さんの発育を促すようサポートします。								
営業時間		10時	00分	から	16時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	ADLの自立を促す。リハビリ職員と情報共有しながら、箸の操作や椅子、机の調整したり、1人1人に合った支援を考える。								
	運動・感覚	いろいろな動きを取り入れながら跳ぶ、渡る、潜るなどの基本的動作を身につける。								
	認知・行動	視覚支援を取り入れ、1日の流れや行動を子ども達に分かりやすく伝える。活動が切り替わりやすくなるように、事前に終わりの時間を伝えたり（提示）次の活動の絵カードを提示したりする。								
	言語 コミュニケーション	絵カードの選択、1人遊びが多い子は保育者と遊びの中で他者との関わりを学べるよう促していく。								
	人間関係 社会性	ルールのある遊び（鬼ごっこ、買い物ごっこ）を通して友達と一緒に遊んだり、1つの作品をみんなで作り上げて、達成感を味わう。体験を通して、集団参加の大切さを学ぶ。								
家族支援		定期的な面談、ペアレントトレーニング、保護者交流会（お話し会）				移行支援		交流保育、園訪問		
地域支援・地域連携		モニタリング、担当者会議				職員の質の向上		全体研修、新人研修、2年目研修、クラスミーティング、多職種との情報交換（カンファレンス）		
主な行事等		卒園式、餅つき、ハローウィン								

事業所名 柳川療育センター児童発達支援事業所あいりす(つき組)

支援プログラム

作成日 7年 2月 1日

法人(事業所)理念		利用者の幸せを願い人権を尊重し、医療、看護、介護、リハビリ、事務、栄養などのスタッフ全員が力をあわせ人間性に富んだ最善の療育サービスを行います。		
支援方針		発達の遅れや発達の偏りがあると思われる就学前のお子さんに対してさまざまな領域の遊びや、基本的な生活習慣、指導を取り入れ、社会生活へ適応できるよう、相談、援助、機能訓練などを行い、お子さんの発育を促すようサポートします。		
営業時間		10時 00分から 16時 00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	ADLの自立を促す。(睡眠リズムの安定、着脱、排泄、食事の操作)		
	運動・感覚	遊びの中で、身体の使い方を身につけたり、ボディイメージを高める。苦手な感触や感覚に対して道具等を使い、少しずつ取り組めるように支援する。		
	認知・行動	視覚的にスケジュールなどを伝える。活動の変更や終わりを事前に知らせる。		
	言語 コミュニケーション	発語が難しい子は絵カードやジェスチャー等の伝える手段を身につける。保育者との遊びの中で要求を引き出す。		
	人間関係 社会性	保育者が介入しながら、こども同士のやりとりの機会をつくる。あそびの中に簡単なルールを取り入れ、社会性を身につける。		
家族支援		ペアトレーニング、保護者交流(お話し会)	移行支援	交流保育、園訪問
地域支援・地域連携		園訪問、モニタリング、担当者会議	職員の質の向上	全体研修、クラスミーティング、新人研修、2年目研修、多職種との情報交換
主な行事等		卒園式		

事業所名

柳川療育センター発達支援事業所あいりす(きらきら組)

支援プログラム

作成日

7年

2月

1日

法人（事業所）理念		利用者の幸せを願い人権を尊重し、医療、看護、介護、リハビリ、事務、栄養などのスタッフ全員が力をあわせ人間性に富んだ最善の療育サービスを行います。								
支援方針		発達の遅れや発達の偏りがあると思われる就学前のお子さんに対してさまざまな領域の遊びや、基本的な生活習慣、指導を取り入れ、社会生活へ適応できるよう、相談、援助、機能訓練などを行い、お子さんの発育を促すようサポートします。								
営業時間		10時	30分	から	12時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	トイレ、着替えなどADLの自立を促す。たくさん褒めて、達成感につながるように取り組みを行う。								
	運動・感覚	姿勢を運動、動作の基本的技能の向上。様々な設定を用いて、身体を動かす楽しみ知る。身体に触ることで、ボディイメージを知る。								
	認知・行動	好きなキャラクターを用いて、本児の意欲が高まるようにする。写真やイラストを提示し、環境の工夫を行う。感触遊びを通し、指先を沢山使った活動を実施。								
	言語 コミュニケーション	やりとりの中で、自発的な要求を引き出せるように、二択から選択してもらう機会を増やす。								
	人間関係 社会性	ふれあいあそびを行い、アタッチメントの形成、遊びを通して、場所の共有や一緒に取り組み他児との触れ合う機会を設け社会性を促す。								
家族支援		定期的な面談、実際に活動ののち、関わり方のポイントを伝達し一緒に取り組む。				移行支援		園訪問		
地域支援・地域連携		園訪問 モニタリング 担当会議				職員の質の向上		活動内容の振り返り、情報共有を行う。		
主な行事等		不定期で保護者とのお話し会								